

ポスト・コロナにおける新たなマネジメントの開発

このテーマのキーワード	ドラッカー、マネジメント、中小企業、強み、フィードバック分析
関連するSDGs開発目標	   

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

コロナによって外の世界を知る機縁が希薄になり、新たなマネジメント上の課題は頻出している。特定の職業世界に生きていると外部の人々に関わる経験が不足してくる中で、自らの強みや成果を聞かれても、それを知るべきであること、そして人に伝えるべきであることに意識を持ってない傾向がある。

(概要)

ドラッカーの「フィードバック分析」を手帳ツールとして実践することで、自分がどのような強みを持っているのかを日々のフィードバックのなかでの整理・理解をサポート。

(期待される効果)

組織の中で重要な関係者との信頼と相互理解を形成する上で、どのようなコミュニケーションを取るべきかをチームで考えていく。強みと知識を両輪として有効に機能させる組織風土を作るための意識変革を促していく。



想定される適用分野・用途・業界

- 中小企業
- 病院
- 学校
- NPO、自治体等

産業界へのアピールポイント

- ドラッカーのマネジメントは長期にわたって堅実に成果を上げていくための要となるアプローチです。

情報メカトロニクス学科 井坂 康志 教授

このテーマに関するお問合せ
E-mail : mric@iot.ac.jp

ものづくり研究情報センター
TEL : 048-564-3880

進化する技・深化する知
 **ものづくり大学**
INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS